

野口オートキャンプ場

〜 キャンピングカーの聖地を目指して〜



地方創生の取り組みとして、「100万人が1回来る御坊」ではなく、1万人が100回来る御坊」を目指して、市では関係団体と「GO!GOBOPOロジェクト」を立ち上げ、市内の方々の声やアイデアを取り入れながら、野口オートキャンプ場（以下、野口AC）の魅力の再発見に取り組んできました。

平成30年5月にフェイスブックで国内最大級の「キャンピングカー倶楽部（以下、CCC）」のオフ会が行われ、キャンピングカーが約100台、家族連れら約200人の方が野口ACを訪れました。参加者からは「高速インターから2分とアクセスが良く、全



CCCオフ会の様子



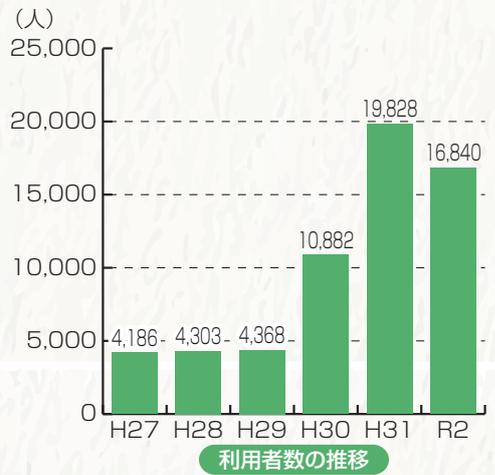
紀の国バイカーズキャンプの様子



【火】の国わかやま焚き火体験事業の様子

面芝生で、電源のあるサイトがとて広く、キャンピングカーにとつてこんなに素晴らしいキャンプ場は全国を探しても他にないよ」との声がありました。これをきっかけに、野口ACでは「キャンピングカーの聖地」を目指し始めました。

その後も、同年11月、令和元年5月及び令和3年11月にもオフ会が開催され、全国から多くの方々が野口ACを訪れました。令和3年10月には、ハーレーダビッドソン愛好家による紀の国バイカーズキャンプ、12月には観光協会の主催で『火』の国わかやま焚き火体験事業も行われました。



イベントの開催と並行して、他所のキャンプ場と差別化を図るため、あらたにプライベートタイプのドッグランサイトやダンプステーションの設置、電源サイトの電源容量をアップするなどの施設整備を行いました。特に、プライベートドッグランサイトは愛犬家のキャンパーに大変人気があります。

このような取り組みの成果は、野口ACの利用者数に表われています。

平成29年までは年間約4,000人の利用者数であったのが、CCCオフ会が開催された平成30年は10,882人、翌年平成31年には19,828人、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により16,840人でしたが、毎年利用者数は大きく伸びています。

また、YouTubeやインスタグラム等のSNSにおいても、野口AC



アウトドアイベントで全国にPR

が取り上げられ、多くのキャンパーから情報が発信されています。今では、土日の予約はすぐにいっぱいとなり、人気のキャンプ場になっています。

このように市内外の多くの方々が訪れる野口ACで御坊市の観光情報の発信や、地元観光名所を巡るツアーを実施することで、さらに御坊の魅力について知っていただき、御坊に愛着を持つ人々を増やしていきます。

また、御坊市にとどまらず、日高圏域、また和歌山県全域の観光拠点の一つにできるように継続して取り組んでいきます。





ぜひ野口AC
紹介動画をご覧ください